

情報メディア基礎論（前期月 3-4）オリエンテーション

——第 01 回と第 02 回の講義の進め方について

2020 年 4 月 16 日
群馬大学 社会情報学部 准教授
平田知久
tomohira@gunma-u.ac.jp

第 01 回・第 02 回の講義の進め方

第 01 回（2020/04/20）イントロダクションのイントロダクション

- Zoom（もしくは Webex）によるオンライン配信講義視聴環境の設定.....A
 - オンライン配信講義視聴環境が構築できない場合の講義参加環境の設定.....B
 - ネット接続ができない場合の講義参加についての説明.....C
- ※資料は講義前日までに Moodle の以下の URL にアップロードします。

<https://mdl2.media.gunma-u.ac.jp/course/view.php?id=1556#>

※講義終了後、受講に関わる問題について個別対応します

第 02 回（2020/04/27）イントロダクション

- ①講義概要の紹介
 - ②単位に関する説明
 - ③自己紹介・質疑応答
- ※第 01 回の講義の A、B、C の各方法で、①～③の同じ内容を繰り返します。
※講義終了後、受講に関する問題について個別対応します

第 03 回（2020/05/11）以降 通常講義開始

講義担当者から受講生の皆さんへ

この講義は基本的に、群馬大学社会情報学部に入學したすべての学生が受講する科目になっています。大学では、このような科目は一般的に「専門必修科目」と呼ばれますが、皆さんの得意な分野や学びたいことを超えて、社会情報学部の学生として皆さんに持っていてもらいたい知識や考えてもらいたい事象に目を向ける科目だと思ってください。

今、COVID-19 と名付けられたウイルスが、日本を含む世界の様々な地域で流行し、人々がこれまで営んできた社会活動に大きな変更を迫っています。

大学もその例に漏れません。これまで当たり前のように行われてきた、「対面での講義」という形式での知の伝達は、これから皆さんが経験することになる、インターネットを介したものに変わるかもしれません。

「情報メディア基礎論」という科目を担当する教員（平田）としては、この変化自体を「社会情報学部の学生として皆さんに考えてもらいたい事象」と捉えなおして、講義を進めていきたいと思っています。なぜならこの講義の目標の一つは、これまでの人類史に登場したメディア技術によって、人々が「できるようになったこと」と「できなくなった（しなくなった）こと」を、様々な事例をもとに通史的に学ぶことだからです。

以上のような意味で、皆さんはインターネットを介した講義によってできること、できない（しなくなる）ことを体験する、その最先端にいることになります。そして、講義担当者としては、皆さんを取り巻くこのような状況を冷静に捉えなおすための考え方を、知識として提供したいと思っています。まずは半年間、よろしくお願いします。